

2024年9月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.164

8月15日 終戦記念日の宣伝 夏の研修…保育、区画整理、生活保護



2日目の分科会は、保育制度シンポジウム「子どもの権利と保育制度の現状・課題」に参加しま

暑い、暑い熊本市に、リアル参加で2千人、リモートで5千人が参加した研究会となりました。今年で56回目となりました。熊本を中心に実行委員会を組み、準備してきたものです。歓迎のイベント（歌声、ダンス、朗読劇）は素晴らしいものでした。

▼保育問題▲

7月、8月は、相次いで研修会が開かれました。7月27日、29日は熊本市で全国保育合同研究会、8月19日は江東区で再開発・区画整理・都市計画研修センター、23日は大阪市で生活保護問題議員研修会に参加して学んできました。市政に活かして行きます。

最終日は、「共に生きるとは何か」と題して、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが、ガザの子どもたちなどの写真を映しながら、平和の大事さを訴えました。閉会セレモニーでは、来年の開催地・群馬の皆さんが登壇し、準備を始



した。4人の研究者が「こども未来戦略の概要と問題点」「こども政策の財源は」「保育労働者の実態」「子どもの権利の視点から子ども施策の検討」を報告。若い保育士の姿が目立ちました。

終戦記念日 3駅で宣伝 ＝市議団と地域支部と一緒に＝



79回目の終戦記念日となった8月15日。夕方から、市川駅、本八幡駅、行徳駅の3カ所で、街頭からの訴えを行い、「赤旗」新聞を配付しました。10

支部から、のべ35人が参加しました。

私は、当日付の東京新聞に掲載された「平和の俳句」を紹介し、核兵器禁止条約の批准に背を向ける日本政府に対する批判、憲法9条を守り活かす政府を作ることと呼びかけました。



めていることを紹介。「来年は群馬で会いましょう」と散会しました。

▼再開発問題▲

主催は、NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議です。

各地で再開発の嵐が止まりません。デベロッパーが事業起こしに走り回り、自治体はこれらを放置している状況が見られます。市川市では、本八幡駅北口で2つの再開発が進んでいます。都市計画のキーボードは「公共の福祉」です。午前中の記念講演は「公共の福祉から読み解く 都市計画」と題して、環境情報学が専門の波多野憲男先生がお話しされ、「住民の合意のない『計画』に公共性は認められない」とまとめられました。

▼生保問題▲

8月23日、大阪市で開かれた生活保護問題議員研修会に市議団4人で参加しました。

一番驚いた報告があります。群馬県桐生市で、「反貧困ネットワークぐんま」に、「生活保護申請に同席させてもらえない」「1日1千円の保護費を窓口で手渡されている」という相談があり、調査を始めたところ、次々と恫喝や人権侵害の様子が寄せられたといいます。「税金で飯食っている自覚はあるのか」「生活保護の分際で偉そうに」「警察呼ぶぞ」「精神病院に入れ」など、驚きの連続だったということです。



以前、北九州市の「水際作戦」というのが全国的に問題になりましたが、それよりもひどい「硫黄島作戦」が露骨に行われているという報告でした。桐生市では、10年あまりで保護費の総額が45%減少しています。自然現象ではなく、徹底した「水際作戦」で、1948本の印鑑を保管し、「有印私文書偽造」が疑われ、近く刑事告訴も考えているということです。

さらに、今回の研修会で、市民を生活保護から遠ざける自治体の実態が報告されました。

1つ目は桐生市（保護費の分割支給、警察OBを配置し面接段階から恫喝など）。2つ目は愛知県安城市（ホームレス状態の外国人は生活保護の対象ではないと職員が間違った説明、後に市長が

謝罪）。これ以外にも、京都府亀岡市、大阪府八尾市、大東市、奈良県香芝市、生駒市、三重県鈴鹿市など上がっています。市川市でも、しっかりとチェックしていきます。「生活保護を当たり前の権利」にしていくことが大切です。

▼教育問題▲

8月24日、市川・教育問題を考える会主催で、講演会が開かれました。



講師は、子どもの権利条約市民・NGOの会共同代表の児玉洋介氏。

不登校（年間30日以上学校を欠席した児童生徒）が全国で30万人と言われているようですが、保健室や教育センターなどに少しでも通っている児童生徒

は含まれていないので、実態はその10倍だと言われている現状をどう解消していくのか。子どもたちのストレスは激化の一途をたどっているといえます。校内暴力、いじめ、不登校、自殺等も増えています。さらに進路の競争環境で、「私立入行きたくても行けない」こともストレスになっているなど、ストレスの解消も必要となっているということです。国連子どもの権利委員会から繰り返し「勧告」されているので、今後、「競争社会」の転換を求めるとともに、「教育全国署名」を最大の力に、全国各地から、多彩な取り組みを進めましょう、と呼びかけられました。

無料法律相談

◎9月10日（火）
担当 土井太郎弁護士
◎10月8日（火）
担当 井出達希弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 7、8月》

☆7月23、24日 全県地方議員研修会

久しぶりの泊まり込みの議員研修会でした。1日目は学習会。夜は、4つの分散会で、私は「不登校対策」に参加。各市ごとに、対策がまちまちで、どんな施策があるのか、まとめてほしいという声が出されました。2日目は、各議員団からの活動報告でした。

☆8月18日 青年劇場60周年パーティー

創立60周年を迎えた「秋田雨雀・土方与志記念青年劇場」のパーティーに参加しました。私は友の会会員となって43年になります。友人が劇団員となったのをきっかけに会員となりました。



「市川でよい芝居をみる会」を立ち上げた、最初のお芝居が青年劇場「キッスだけでいいわ」です。あれから30年近くが経っています。今年11月23日には、子ども文化ステーションと共催で、公演することになりました。

☆8月25日 千葉県合唱創作交流会

毎月1回、新婦人コーラス小组で練習しています。少人数ですが、指導する先生もいます。交流会には全県から21団体が参加。11月



に佐賀県で開かれる日本のうたごえ祭典の千葉県代表を決める交流会でもあります。私たちは「羽ばたけ憲法9条」「見上げた空から」を歌いました。